



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.164

2014年12月18日発行 九州支部長

「子どもたちに教育を！」と訴えるパキスタンの少女、マララ・ユスフザイさんのスピーチに心が動かされます。一方でその影響力を恐れ、マララ殺害予告を行い、学校を襲撃する集団。問答無用の行為です。マララさんが訴えるように兵士たちにも教育が必要なのでしょう。過酷な児童労働から子どもたちを救おうと闘っているインドのカイラシュ・サティヤルティさんとのノーベル平和賞の共同受賞、世界中の人たちにいろんな問題提起をしてくれています。グローバルな視点で世界と日本を見つめていきたいものです。

サーバス九州は今年度の最大の課題であるホストリストデジタル化に向けた取り組みを一応終了し、(IT担当のNさんは今からですが)、今は台湾訪問と国内会議に向けた準備を行っているところです。

寒さが募ります。ご自愛くださいませ。

2015年が良い年でありますように！

さて、会報12月号(164号)をお届けします。今回もみなさまから報告をいただかなければいけない用件があります。どうぞよろしくお願いいたします。

収録している内容は以下の通りです。

- 1 トラベラー受け入れ報告を！
- 2 「サーバス国内会議と九州支部春の集い」について
- 3 シリーズ世界一周の旅ーその6ー インド・バラナス
- 4 サーバストラベリング報告 「韓国・全州と井邑に行ってきました」
- 5 「台湾訪問」について
- 6 お知らせとお願い<日本サーバス関係><サーバス九州関係>
- 7 サーバス九州現況 (2015年1月から)
- 8 サーバス九州連絡先等(常掲)HPでは省略

## 1. トラベラー受け入れ報告を！

毎年、年度末にお願いしていますトラベラー受け入れ報告を今年もお願いします。以下の件を1月10日までに緒方宛に報告してください。メールで結構です。よろしくお願いいたします。

2014年1月から12月までに受け入れられたトラベラーの

①氏名 ②国名 ③人数 ④宿泊日数あるいはデイホストされた日にち(時間)

⑤ひとことコメントなど

をご報告ください。形式はこだわりません。詳しい情報がわからない場合はわかる範囲でも結構ですので、ぜひ、よろしくお願いいたします。

## 2. サーバス国内会議と九州支部春の集いについて

2015 年日本サーバス国内会議と九州支部の春の集いについては以前からお知らせを続けていましたが、会場の件で変更を余儀なくされました。

下記の要領で実施します。支部のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

### 2015年日本サーバス国内会議と九州支部春の集い

期日：2015年3月14日(土) 13:00～3月15日(日) 12:00 (14時から九州支部会議)

国内会議日程等：

1日目：受付：12:40

会議：13:00～17:00

懇親会：17:30～19:30

場所：福岡リーセントホテル

〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎2-52-1 TEL 092-641-7741 FAX 092-641-5851

(福岡空港または博多駅から「姪浜・西新方面」(Meinohama・Nishijin)に乗りし  
2つ目の「中洲川端駅」(Nakasukawabata)で下車。貝塚方面行きに乗り換え、4つ  
目の「箱崎宮前駅」で下車。箱崎宮前駅「3番出口」から徒歩2分程でホテル到着。  
(乗車時間約12分/徒歩約3分) このホテルには宿泊も可能です。共済組合員の方は  
割引、宿泊補助券も利用できます。各自でお申し込みください。

2日目：

会議：9:00～12:00 (前日と場所が異なります)

場所：西南大学コミュニティセンター会議室

〒814-8511福岡市早良区西新3丁目13番1号

(地下鉄：西新駅③出口から徒歩5分) (nishijin)

\* ショートタイムオプションツアー (国内会議終了と九州支部春の集いまでの間に実施)

2日目午後は引き続き西南大学コミュニティセンター会議室で  
**九州支部会議：14時～16時30分**

参加費：無料 (国内会議には会員はだれでも参加できます！)

懇親会費用：お1人4,000円(飲み物別)

九州支部の会員もこちらにご参加いただき、他支部の方との交流をお楽しみください。

参加申し込み：支部長あてに2月1日～28日までの間に

①お名前 ②支部名 ③懇親会参加の有無 ④ショートオプションツアー参加の有無をお知らせください。ご都合のいい方法でお知らせください。

ショートタイムオプションツアーについて：

2日目の会場・西南学院大学は蒙古襲来の地の近くにあり、当時の遺物である防塁も多数散見されます。「元寇公園」も近くにあります。せっかくですので、タクシーで「元寇公

園を訪れてはどうかと企画しています。（説明は元ガイドの会員）

備考：

- 1 国内会議で現地が行う仕事：①会場確保 ②会場準備 ③受付、湯茶等の接待  
④会議記録者2名選出 ⑤会議議長選出 ⑥写真撮影があります。支援をよろしく願  
いします。
- 2 宿泊手配：各自でお願いします。  
（1日目の会場であるリーセントホテルも宿泊可能です。博多駅近辺にお手頃なビジネス  
ホテルもあります。ネットで検索していただいたらいいのではないかと思います）

### 3.シリーズ世界一周の旅 ーその6ー

熊本 T. A 会員

#### 「インド バラーナスへ」

2012年4月19日、飛行機に乗ってカトマンズからバラーナスへ移動。バラーナスはヒンズー教の聖地、ガンジス川が流れる場所です。空港からホテルの近くまでタクシーで移動。しかし、ガンジス川の近くには車が入れないため、その後ホテルまで結構な距離を歩きました。道の途中で野良牛に出会ったり、牛の落し物を避けながら歩いたり、日本ではありえない道でした。ホテルはガンジス川の近くにある安宿で、一応ツインの部屋で冷房、テレビ、トイレシャワーもついていましたが、窓の外には野良猿がいて時々猿が窓の鉄格子をガスガスと揺らすような場所でした。またスタッフから最初に、ベッドとベッドサイドのテーブルをくっつけないようにと注意を受けました。それは夜中にネズミがテーブルを伝ってベッドに上がってくるからだそうです・・・。なんとという場所だ・・・と思いながら、とりあえず荷物を降ろして早速徒歩でガンジス川へ向かいました。丁度19時から夜のお祈りのセレモニーが行われるとのこと。

到着するとガンジス川の前には、お祈りのためにライトアップされたステージがあり沢山の信者たちが集まっていました。そしてそのステージには、オレンジ色に輝く衣装を着た彫りの深いイケメンたちが祈りの歌にあわせて、お香片手に踊っているではないですか!!!友人と私は彼らを「インドのイケメン SMAP」と名付けて、その後毎日見に行きました。インド最初の一日は、イケメンダンスと供物の花やお香に炎、色鮮やかな女性のサリーの衣装、怪しい格好をしたサドゥー達とネパールとはまた違う衝撃を受ける一日となりました。

イケメンダンスを楽しんだ後、腹ごしらえに近くのホテルの屋上で食事をしました。インドの夜も暑く、冷たいビールが飲みたいと注文をしたのですが、飲んでもいいけど周りにばれない様に金のピッチャーに入れないと駄目と説明を受けました。う～ん、なんとなくピッチャー入りのビールは味気ないと仕方なく諦めました。カトマンズでは瓶のまま飲めたのに。流石にヒンズー教の聖地、ガンジス川の前では駄目なようでした。

翌日はガンジス川の朝日を見ようと早起きしました。少年が操る手漕ぎボートを借りて、川側からお祈りする人々の様子を眺めました。ガンジス川の反対岸は「不浄の地」ということで建物がなく、そちら側から朝日が昇ります。赤い朝日に照らされた町並みは美しく、一心にお祈りをし、沐浴をする人々の姿が感動的でした。上流側に行くと川の水を使って岸辺で洗濯をする人々がいました。昨日見たステージがあるあたりは主に沐浴と祈りをする人、また下流には亡くなった方を火葬する場所がありました。一見美しく見えたガンジス川の朝の風景ですが、よく見ると川の水は濁り、川で泳ぐ子供たちの横には沢山のゴミが浮いていました。また一心にお祈りをする人もいれば、火葬に使う蒔きのために寄付を募ったり、ココから先は有料と勝手にお金を取ろうとする人がいたり・・・。なんとも不思議な国、インドの朝の風景でした。

## 4. サーバストラベリング報告

「韓国・全州（チョンジュ）と井邑（チョンウプ）に行ってきました！」

長崎 O.T 会員

サーバス九州の湯布院例会に参加された韓国からの R さんご夫妻を例会前後にホストしましたが、お話を聞きしているうち無性に全州（チョンジュ）と井邑（チョンウプ）に行ってみたくなり、同じく全州からのお客さんの K さんをホストした Y さんと二人で 11 月の初めに 4 泊 5 日の日程で「韓国田舎歩き」に行ってきました。

韓国には 10 回以上行っているのですが、ソウル・釜山が中心で田舎にはなかなか行く機会がありません。井邑はその昔、歴史の授業で習った東学党の乱（今は「東学農民革命」と言われています）があったところで、R さんはその記念館のボランティアガイドをされている方です。近くには紅葉で有名な「内蔵山国立公園」があり、ハイキングにもってこいのところだとか、これは少々無理をしても行く価値あり、と実行しました。

運よく、往復 4900 円というにわかには信じがたい値段のビートルチケット（4 席分だけ格安販売）も入手でき、R さんのはずから従って釜山へお昼すぎに到着。港へは同じく湯布院例会に参加してくださっていた S さんと昨年竹田にきてくださった P さんの息子さんが迎えてくださり、釜山市内にある長距離バスセンターまで案内していただきました。そこには P さんもきてくださって、魔法瓶に入ったお手製のあたたかいジンジャーティーと柿を食べやすくむいてタッパーに入れたものを差し入れてくださり、ありがたくいただきました。

全州までは途中のトイレ休憩以外はノンストップの高速バスで 3 時間半。田舎の景色を楽しんでいる間に到着しました。6 時半を過ぎ、あたりは暗くなっていますが、ホストをしてくださる中国語の先生の L さんが迎えてくださることになっていましたので、心配はしていませんでした。バスを降りたら、なんとそこには A さんとお連れ合いさんが……。えっ？？とびっくり。「スンチョンに行っていたら、ホストの L さんが『言葉がわからないから、手伝いに来て』、と電話をしてくださったので、足を延ばしてきた」、とのこと。またまたびっくり！

その晩は 5 人でマッコリ屋さんのはしご。アルコールがだめな私は 20 種類ぐらい出てきたサイドディッシュを存分に楽しみました。最後はコーヒー店に行き終了。韓国もハシゴは普通らしい。L さんのお宅に A さんと連れ合いさん、それに私たち二人がお世話になりました。

翌日は朝食を済ませ、早速、みんなで街ブラ。全州は百済の管轄だったところ、百済時代の遺物を収めた国立博物館等もあります。しかし、今回はパス。今ツーリストアトラクションになっているハノンマウル（韓屋村）を散策。賑やかでした。全州はビビンパ発祥の地。専門店がいくつもあります。昼食はもちろんビビンパ。少しドキドキしながらユッケを食し、A さんの車で井邑へ。

井邑では R さんが町を案内してくださいました。R さんはサーバス全北支部の支部長さん。歴史に詳しく、日本とのかかわりも含めながら解説してくださいました。

最後は「東学農民革命記念館」へ。今まで「東学党の乱」（地方の「農民一揆」）としてしか理解していなかった浅学を恥じました。町のあちこちに顕彰碑的なものがあり、R さんが丁寧に説明してくださいました。

夜はソン・チャンボン民俗村へ。ここは昔の韓国の住居を模して造られた一戸建ての家々がバンガローのようにたくさんある宿泊施設です。folkvillage と呼ばれています。夕食は village の食堂でサーバスのメンバーである S 社長も同席して 4 人でいただきました。野菜たっぷりのヘルシーメニューでした。ここの各バンガローには伝統的なオンドルがあり、外の焚口から薪で炊いてくれます。本来のオンドルは台所の竈で煮炊きしたときに発生する煙を居住空間の床下に通し、床を暖めることによって部屋全体も暖める設備です。部屋の床は石板の上を漆喰で塗り固め、そ

の上に油をしみこませた厚紙が貼ってあります。台所によく使われている「ビニール張りのフローアー」のような感触です。その上に布団を敷いて寝ます。今はやりの「床暖」ですが、私たち二人には暑すぎて、ちょっと寝苦しく感じました。特に頭が熱いのは・・・でも、我が家を訪れた韓国の方が我が家を「寒い」「寒い」と言われる理由がわかりました。我が家は床暖なし、エアコンなしですから。

翌日は朝まだ暗いうちに民俗村を立ち、Rさんと内蔵山国立公園へ。紅葉で有名なところだそうでハイカーでいっぱいでした。紅葉を愛でながら枯葉の上をウォーキング。いい感じでした。山頂の寺院は今、改築中。お寺の屋根瓦を寄付するキャンペーンがあっただけだったので、二人で瓦に名前を書いて記念に残してきました。井邑市内に戻って、迎えに来てくださった次のホストの湯布院参加のKさんと会い、再び全州へ戻りました。

全州では一緒に街歩きを楽しみ、自宅へ。収納設備の見事なマンションで部屋がきれいなのに驚きました。道具はいっぱいあるのに何も見えず、整然としています。コーヒーメーカーまでキャビネットの中に設置され、普通に使われているのです。ひとしきり「収納」で話が盛り上がりました。

翌日は夫妻と farmer's market を訪問したり、古刹の山寺へハイキングしたりしてゆっくりリッチな時を過ごしました。

滞在5日目、再び長距離高速バスで釜山に戻り、そのままチャガルチ市場に行ってヒラメの刺身を昼食に食し、フェリーで福岡に戻ってきました。

今回ほどサーバスの方に「おんぶにだっこ」された旅行はありませんでした。これは九州サーバスのみなさんが各地で「おもてなし」をしてくださったお礼を私たちが勝手に「代表」して受けてしまったのだと思います。すみません。みなさんにお礼を申し上げます。ありがとうございました！

## 5. 台湾訪問について

前号でお知らせしていた台湾訪問についてのご報告です。

4月の支部会議でアジアサーバス訪問が提起されていたことを受け、秋例会でサーバス台湾からの参加者と意見交換し、話を具体化したものです。

訪台参加希望者9名です。以下の予定で実施します。

実施時期：2015年1月23日（金）～2015年1月27日（火）

日程概略：23日、24日台北サーバス宅ステイ。

24日は台湾サーバスメンバーと一緒に貸切バスで九分へ。

25日台北から花蓮へminibusで移動し、花蓮を観光。ホテル泊

26日台北・桃園空港近くのホテル泊

利用飛行機：エバー航空

出発：福岡空港発1月23日（金）12時15分 着13:50分（フライト時間2時間35分）

集合：福岡空港国際線ターミナルエバー航空カウンター付近に同日午前10時集合

帰着：福岡空港着1月27日（火）午前11時15分 空港で解散

費用概算：航空運賃往復300,300+ホテル2泊+移動費（台北⇄花蓮）+その他

5万円を事務局で預かり、事後精算方式。

費用に含まないもの：個人でとる食事代等個人的費用、保険料等

航空券：HISで手配

## 6. お知らせとお願い（日本サーバス&サーバス九州）

1 ホストリストのデジタル化に向けての支部での作業は一応終わりました。突然お電話や Fax をしたりして驚かせた向きもあるかと思えます。ご容赦ください。みなさまのご協力、ありがとうございました。電子版記載承認者 46 人 差し控える方 7 人で進めています。

2 サーバスの年度末になりました。サービスの会費は年度当初(1 月)にその年度分の会費を納入していただくことになっています。2015 年の会費を 2015 年 1 月末までを目途にご納入ください。

納入先(郵便局口座番号)はこのメールの最後に記しています。よろしくお願ひします。

3 サービス本部より不審なメールについての連絡があつています。当九州支部でもそのようなメールが数通届いている報告を受けています。電子メールでもお知らせをお送りしますが、このようなメールには絶対返信をしないでください。以下『』は会長からのメールです。

『最近、サービス会員をターゲットにした怪しいメールが流れているようです。国際サービス副会長の A.G 女史からの Warning メールを転送します。皆様の中で、「旅行中に財布を盗まれて困っている」だの、「家族が手術を受けることになった」だの、いずれも金を無心する英文のメールを受け取ったことのある方はお知らせ下さい。(今から可能なら私あてに転送してください)もちろん、そのようなメールには一切応答しないでください。』

## 7. サービス九州現況（2015 年 1 月より）

サービス九州現況（2014 年 10 月 21 日現在）

会員数 53 家族（4 人の方が退会、3 人が休会を申し出られましたので減少しています）

<内訳：大分 12、熊本 6、佐賀 4、長崎 8、福岡 12、宮崎 11>

\*\*サービス九州では年度始め（1 月）に 1 年分の会費をいただいています。途中で退会の申し入れがあつても年度末までは会員ですので、会報等お届けいたします。

退会：I.J さん、K.T さん、Y.H、F.C さん

休会：M.R さん、Y.S さん、Y.T さん